

# 木村広一は取り組んでいます！

## 防犯カメラの推進で 「東京で一番安心な中野を！」

今年度**23区初で初めて、区内幹線道路の主要交差点の58か所合計116台の防犯カメラ設置**します。

また、防犯カメラの設置、維持管理費に対する助成を実現（1台年間上限12,000円）しました。平成30年3月時点で、全小学校各5台の通学路防犯カメラが125台、町会・自治会、商店街が設置した防犯カメラは414台、**中野区内に合計539台が設置**されています。



## 認知症の理解を推進、 認知症の早期発見を強化

2025年には65歳以上の約5人に1人が認知症患者となると推計されています。これまで**認知症サポーターの拡大（平成30年9月時点17,237人）**、小中学校での認知症サポーター養成講座、認知症対策の詳細な中野区版パンフレット配布を実現してきました。今後は採血など医学的チェックの導入を含め、**軽度認知症の気づきと早期予防を推進**するとともに、相談窓口を充実していきます。認知症になっても過ごしやすい地域、家庭をつくっていきます。



## 高齢者が安心して住み替えができる体制を充実させ、家財処分にかかる費用を補償する制度を推進

高齢者の住み替えは、保証人がいない等の問題でとても大変です。単身者からは葬儀、納骨などへの不安の声を多く聞き、議会でも取り上げてきました。**平成31年1月から高齢者や障がい者の住み替えをやすくする「中野区あんしんすまいパック」がスタート、全国初の取り組みとなります。**

高齢者や家主の不安を取り除き、住み替えしやすい環境をつくっていきます。

### サービス概要（利用者負担額1,944円のみ）

- ① 週2回の安否確認電話などの見守り
- ② 上限50万円の葬儀費用保証
- ③ 残存家財の片づけ費用保証が上限100万円（葬儀費用と合わせ）

## 洪水ハザードマップの活用で、 水害に強い地域づくりを

昨年の**私の一般質問を受け、更新された洪水ハザードマップが平成30年9～10月に浸水予想区域約4万5千世帯に配布**がされました。

洪水ハザードマップをしっかりと活用し、水害に強いまちづくりに取り組んでまいります。

